

# にこにこ通心

平成29年10月  
vol. 84 **あ**

みなさまとの出逢いも  
素敵なご縁です☆  
ありがとうございます♡

## 出逢いは必然

「人間は一生のうち逢うべき人に必ず逢える。しかも、一瞬早すぎず、一瞬遅すぎない時に、哲学者であり、教育者でもあった 森信三さん、という方の言葉です。

僕が生命保険営業の仕事をはじめたのは25才の時。気がつけば18年の歳月が流れました。この18年を振り返る時、森信三氏の言葉が見事にあてはまるのです。

20代後半、僕の営業成績は低迷していました。  
飛びこみ営業をしながら断られ続ける日々。楽しくなかった。  
先が見通せない中で結婚。今思えば、当時、妻はとても不安な気持ちだったと思います。

30才を過ぎた頃、運命の人と出逢います。石川県金沢市で保険営業をしている鳥越介慎さん。鳥越さんの営業は独特。新規活撃をしないのにお客様からお客様へ広がっていくのです。話をお聞きした後、「楽しそう！僕もやろう！」と決意し、最初はマネから始めました。実践したことはシンプル。お客様の日常に「安心感」や「悦び」をお届けし、それを続ける、ということでした。手書きの通信であったり、マヤカだけびびり手間加えた贈り物であったり...

以来10年間続けることができています。なぜか？ お客様が反応してくださることが有難くとも嬉しいからこ  
コツコツ続けてきたことで、最近では、新しいお客様をご紹介いただいたり、保険の見直しや追加加入  
のご依頼も増えてきていて... ありがたいことです。これからは楽しみながら続けていきます♡

(4年前)  
そして、もうひとつの出逢いは、相続診断士として全国初の独立をした富山市の川口宗治さん。生命保険と相続はいつも繋がっています。なぜなら人が亡くなること = 相続の開始だからです。川口さんに出逢ったことで、仕事の幅が広がりました。

相続のご相談を受けていくにあたり、自分自身でもエンディングノートを書きました。エンディングノートを書いたことで、両親、妻、兄弟、友人、お客様、僕と関わるすべての人達への感謝の気持ちが強くなりました。なぜなら、周りの支えや協力があって今があることを思い知らされるからです。そして、命には終わりがあっても再認識します。これからの人生をより有意義に楽しく、自分の人生を生きよう！と気持ちを新たにできました。

そして、今年終活に携わる中で、新たな人に出逢いました。300名以上の看取りケアをおこなってきた現役看護師の西島迪恵さん。このご縁を入切に12月、いっしょにセミナーを開催させていただくことになりました。ぜひ別紙をご一読いただければ嬉しく思います。

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

*(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)*

[Click to get the license for First PDF.](#)